

2018年5月

第92号

ぱれっと



(株)北日本ベストサポート
Tel. 018-883-1888

大相撲「女人禁制」にゆれる

4月4日京都府舞鶴市で行われた大相撲の春巡業で、挨拶に立った多々見市長が突然体調を崩し土俵上に倒れたため、見物に来ていた看護師資格を持つ女性が土俵に駆け上がり心臓マッサージを開始した。

これに対して(若手行司が)「女性は土俵から降りてください」と繰り返し場内アナウンスし、その後に大量の塩を撒くという事態が発生。この行為に対して多くの痛烈な非難の声が上がり、八角理事長(元横綱北勝海)は「人命にかかわる状況の中で不適切な対応でした」と謝罪した。

女性看護師は「土俵から」降りるように促されたにもかかわらず人命救助を最優先させ心臓マッサージを続行、職業柄とは言え讃えられるべき行為だったと思う。

ところで「女人禁制」は北海道大学岡本亮輔准教授によれば、日本では多くの山は、山は女神であり、女性が入山すると嫉妬して山が荒れるとする語り各地で見られ、奈良県の大峰山は古来、修験道の山とされ今でも「女人禁制」が採られている。

海外でもウィーン・フィルハーモニー、フランスの最高教育機関グランゼコール・スイスの山岳クラブもかつては女人禁制だった、と述べている。

また、神道においては、生物の身体から離れた血液・排泄物などは穢とみなす考え方があり女人禁制に結び付けられているようだ。神域内では同様の理由から狩猟が禁止されている。

身近なところでは東北三大祭りの一つとして知られる「秋田竿燈まつり」も女人禁制だった。また、女人禁制とは異なる事由から生じた歌舞伎の例もある。日本での「女人禁制」は徐々に解除される傾向にあるが、宗教や信仰、古来からの概念や風習などから存続しているものも見られる。

さて、問題となった大相撲。桑森真介著「大相撲の見かた」によれば、大相撲は神道の影響が強く、神社儀式、神事に則った立ち居振る舞いが多い。

東京本場所前々日には出雲大社の神官によって神事が執り行われ、各場所の初日前日には相撲三神と幣束を7体祭り、立行司を祭主として神事が行われる。神事相撲は、五穀豊穰、天下泰平を祈って奉納され、力士が四股を踏み、地霊を鎮め大きく両手を広げて邪気を清める。横綱が巻いているしめ縄も神社でのしめ縄から由来するもの。土俵に撒く塩、勝ち名乗りを受ける際の「手刀」「弓取り式」なども土俵を清め、邪気や悪霊を払う意味を持つ。

このように、大相撲は①神事②スポーツ③伝統文化④国技⑤興業などの側面を持ち国民に親しまれている。伝統を重んじながら今後の発展を期待したい。

ただし、わんぱく相撲は女の子でも決勝進出を認めるよう改善をした方がいい。

菜根譚

中国古典に学ぶ

思いやりに満ちた清らかな心を持つ

思いやりや慈しみの気持ちは、人の気持ちをあたたかくさせ、それがこの世の中の雰囲気までも和らげる。
また、清廉潔白な心は、そのすがすがしさゆえ、後の世まで語り継がれる。

(前集 177)

口に出す前によく考える

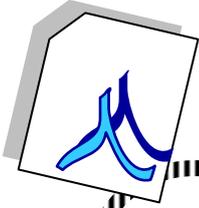
口は心の門である。
人はとかく、心の中で思っていることを何も考えずにそのまま口に出してしまうものだ。だからこそ、意識して口を慎まなければ、言わなくてもいいことや秘密にしておくべきことまで、すっかり外にもれてしまう。
意識は心の足である。
人はとかく無意識のうちに人として正しくない行動をとる場合がある。だからこそ、何か行動を起こすときには、それが正しいことなのか、そうでないのかをしっかりと考える癖をつけなければならない。
さもなければ、どんどん悪い方向に暴走してしまう。

(前集 217)

考え深くなり、疑り深くならない

「人を陥れてはいけませんが、人から陥れられないように警戒する必要はある」。これは、思慮の足りない人を戒めた言葉である。
「人にだまされているのではないかと疑り深くなるよりは、甘んじて人からだまされるほうがましだ」。これは、先を読もうとしすぎる人を戒めた言葉である。
この二つの言葉を念頭に置いていれば、確かな判断力とあたたかい人間性を兼ね備えることができる。

(前集 129)



斎藤 茂吉 (詩人・精神科医)

明治15年5月14日(1882年)	山形県南村山郡堀田村、守谷伝右衛門熊次郎の三男として誕生。
明治29年(1896年)	上山尋常高等小学校高等科卒業。親戚の医師斎藤紀一の勧めで医師を目指す。
明治38年(1905年)	第一高等学校卒業。東京帝国大学医学部入学。
明治39年(1906年)	伊藤左千夫の門下となる。
明治43年(1910年)	東京帝国大学医学部卒業。
大正3年(1914年)	斎藤紀一の長女と結婚。婿養子となる。
大正6年(1917年)	長崎医学専門学校精神科第2代教授。
大正8年(1919年)	歌論集「童馬漫語」刊行。芥川龍之介、菊池寛と知り合う。
大正10年(1921年)	精神病学研究のため欧州留学。
大正12年(1923年)	学位論文「麻痺性痴呆者の脳図」完成。翌年帰国。
昭和12年(1937年)	帝国芸術院会員となる。
昭和24年(1949年)	日本芸術会員となる。
昭和25年(1950年)	歌集「ともしび」刊行。第1回読売文学賞詩歌賞受賞。
昭和26年(1951年)	文化勲章受賞。
昭和28年2月25日(1953年)	心臓喘息のため自宅で死去。享年70歳。

オススメの BOOK



『挑み続ける人生』(天才棋士 加藤一二三)

著者 加藤 一二三 出版社 日本実業出版社

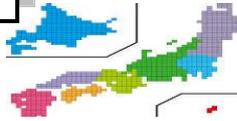
藤井聡太(当時4段)との対戦を最後に将棋界の現役から身を引いた棋士がいる。加藤一二三9段(77歳)だ。14歳でプロデビューし数々のタイトルを獲得したほか公式戦対局数歴代第1位。勝ち数は大山康晴十五世名人、羽生善治七冠に次ぐ第3位の實力者だ。

現役を引退した後もタレントに転身、愛称の「ひふみん」は流行語大賞のトップテンに入った。

本書は将棋界のレジェンドが、将棋にまつわる話題に止まらず自分の趣味や家族についても語っている。厳しい勝負の世界とクリスチャンで音楽を愛する「ひふみん」のあたたかい人柄がにじみでている履歴書だ。



ふるさとと納税の魅力



ふるさと納税は地方自治体への寄付を通じて地域創生に参加できることを目的として08年に始まった制度ですが、6年前に自治体の特産物を送るようになったことから一気に火がつき人気となりました。

最近では高価な返礼品や返礼率の高さで選ぶようになり、地方自治体間での競争が過熱しています。この状況を受け総務省は昨年4月に返礼率の上限を3割にとどめ、家電など換金性の高いものを除外するように、さらに今年4月には返礼品を地場産品に限るよう各自治体に通知を出しました。

ふるさと納税のメリットは

①所得税と住民税が安くなる！

単純計算で「寄付金-2,000円」の税金が還付・控除されます。

②地域の特産品がもらえる！

殆どの自治体がその地域の特産物をお礼品として送るようになりました。

③地域の発展に協力できる！

私達はさまざまな形で国や地域に税金を納めていますが、どの分野に使うかを決めるのは政治家です。しかし、ふるさと納税は唯一、自分で使い道を指定する事ができます。

仕組みと流れは

①寄付したい地域を選ぶ。

②寄付をする。

③寄付した地域からお礼品と「受領書」が届く。

④受領書を持って確定申告へ。

⑤税金から引かれる。

確定申告をすると、寄付した金額はその年の所得税より還付、翌年度の個人住民税より控除されます。さらに、サラリーマンの方は確定申告が不要な「ふるさと納税ワンストップ特例制度」があります。この制度は、1年間の寄付先が5自治体以内であれば、書類(寄付金税額控除に係る申告特例申請書と個人番号(マイナンバー)及び申請者本人を確認できる書類)を寄付先に郵送することで、その自治体は寄付者の住む住所地(市区町村)に連絡し、簡単に税額控除の手続きができるというものです。但し、年収2,000万円を超える所得者や、医療費控除等で確定申告が必要な方はできません。

地域活性化に貢献しながら特産品が貰えて税金も控除！2,000円の負担はありますがハイリターンといえます。

但し、他の自治体に寄付をすることで自分の住む自治体の税収が減るということも頭に入れておく必要があります。

注意したいのは税金から引かれる金額には限度があるという事です。寄付限度額はその人の収入や家族構成によって異なりますが、目安として住民税の20%程度の金額だといわれています。よって、所得(年収)でいうと、だいたい2%くらいでの寄付が望ましいといえそうです。



鳥海山に「種まき爺さん」が現れると庄内では田植えや畑の種まきの時期を迎えます

【編集後記】

ニッポン列島を桜前線が通過した。

「三日見ぬ間の桜かな」本当に瞬く間に過ぎ去った感じだ。

国会では「もり・かけ」問題が2年越しで攻防が繰り返されたと思ったら、今度は民法改正(配偶者の相続に関する優遇措置)などの重要案件審議そっちのけで、「セクハラ問題」でやり合っている。

「国会内の働き方改革」について先生方もしっかりと話し合ってみてはどうだろうか。

平成30年4月24日記